

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日：2011年9月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科ドイツ文学専攻
留学先国	オーストリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	ウィーン大学 Universität Wien
留学期間	2010年9月～2011年7月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	日本学部
帰国年月日	2011年7月15日
明治大学卒業予定年	2012年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：4～7月末 2学期：10～1月末
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料		50万円	協定校なので明治大学に学費を支払えばいいです。
宿舍費		円	
食費	€3,000	300,000円	
図書費	€300	30,000円	
学用品費		円	
教養娯楽費	€500	50,000円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	€300	30,000円	形態：現地の学生保険
渡航旅費	€1,200	120,000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>		700,000円	学費を除く

## 渡航関連

**渡航経路：**モスクワ経由

渡航費用

チケットの種類	往路、復路は別々に購入
往路	7万円位
復路	6万円位
合計	約12万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

地球の歩き方

## 滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

アパート

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋（同居人数      ）

3) 住居を探した方法：

友人の紹介

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

一人の空間なので、非常に快適。ただし留学当初の友人が少ないところは、一人の時間がさみしかった。寮とは違い、周りに気を使わないで済む、自分の生活リズムが維持できる、家族が遊びに来た際も自由に寝泊まりが可能というメリットがある。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地に長く住む日本人に相談しました。留学先で日本人コミュニティと知り合いになっていると、なにかと楽し助けてもらえます。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

ATM利用の際は周囲に細心の注意を払うことです。鞆はしっかりと前に抱え、財布は奥底もしくはチャックがついた袋の中に入れていました。大金を抱えイタリア旅行をした際は、靴下の中に折りたたんだ札束を入れて歩きました（※注 そこまで用心する必要はない国です！）。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

自費でインターネット回線をつなげていました。現地のマクドナルドやバーガーキング、スターバックスは全店問題なく無線ランが利用できます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）

現地で銀行口座を開設し、日本から送金してもらっていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

変換プラグ、辞書、ホッカイロ

## 進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
21 単位	単位
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
Japanisch Theorie3	日本語 3
科目設置学部・研究科	日本学部
履修期間	2010年10月から2011年1月末
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Bernhard Seidl
授業内容	日本語の文法の授業です。テキストを各自購入し、テキストに沿って教授が解説を行います。
試験・課題など	漢字テスト2回、総合テスト1回。
感想を自由記入	毎回の予習が大変で、周りのレベルも高いのでついていくのが精一杯です。成績も厳しく、不合格者も多い授業なので、かなりの努力・勉強量が必要です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)：	履修した授業科目名(日本語)：
Japanisch Theorie 4	日本語 4
科目設置学部・研究科	日本学部
履修期間	2011年3月～2011年6月末
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Bernhard Seidl
授業内容	
試験・課題など	2回の漢字試験、1回の総合試験
感想を自由記入	Theorie 3の続きです。Theorie 5は最上級生向けなので、4はとても難しいです。

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Gesellschaft Japans		日本の社会	
<b>科目設置学部・研究科</b>	日本学部		
<b>履修期間</b>	2010年10月～2011年1月末		
<b>単位数</b>	2		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に120分が1回		
<b>担当教授</b>	Wolfram Manzenreiter		
<b>授業内容</b>	日本の社会について、文化について詳しく学びます。		
<b>試験・課題など</b>	学期末の総合試験		
<b>感想を自由記入</b>	講義形式で100人以上の大ホールで学びます。テスト前は教授がインターネット上に授業内容を分かりやすくまとめたり、クイズ形式でテスト問題練習を作ってくれたので、学習に取り組みやすかったです。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Traditionelle Kampfkuenste Japans		日本の伝統的な武道について	
<b>科目設置学部・研究科</b>	日本学部		
<b>履修期間</b>	2010年10月から1月末		
<b>単位数</b>	2		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に90分が1回		
<b>担当教授</b>	毎回変わる		
<b>授業内容</b>	日本の伝統武道の歴史、成り立ちについて詳しく学ぶ		
<b>試験・課題など</b>	学期末に総合試験		
<b>感想を自由記入</b>	講義のテーマは毎回異なり、一回完結で行われました。日本の伝統武道（柔道、剣道、相撲、空手、合気道など）の第一人者もしくは研究者の講義が聞けるのはとても刺激的で面白かったです。その武道の成り立ち、詳しい技について学び、実際に技を披露してくださる教授もいました。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Interkulturelles Japans		日本の文化	
<b>科目設置学部・研究科</b>	日本学部		
<b>履修期間</b>	2010年10月～2011年1月末		
<b>単位数</b>	5		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	ゼミ（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に90分が1回		
<b>担当教授</b>	Angela Kramer		
<b>授業内容</b>	日本独自の文化である銭湯について研究を行いました。日本人バザーに行ったり、街頭に日本人にインタビューしたり、銭湯についての展示物を作成したりなど冬休み・春休み期間にもよく集まりました。授業時間以外のアクティビティが多かったです。		
<b>試験・課題など</b>	レポート毎回提出		
<b>感想を自由記入</b>	レポートがネックでした。現地の学生は楽な量の字数でも、ドイツ語が母国語でない私には大変でした。3000単語のレポートを仕上げた時はかなりの達成感を味わいました。多少つらくともドイツ語の力を伸ばしたいのであればゼミに参加すると良いでしょう。		

**留学に関するタイムチャート**

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	ドイツ語を猛勉強
4月～7月	留学準備、ドイツ語勉強
8月～9月	留学準備
10月～12月	10月：オリエンテーション、授業開始 11月：授業、試合など 12月：授業、中間テスト、クリスマス休み
2011年 1月～3月	1月：期末テスト、それに向けての猛勉強 2月：春休み。家族が渡欧。 3月：遠征、合宿、試合など
4月～7月	4月：ほぼイースター休み。家族が渡欧。 5月：中間テスト、授業 6月：授業 7月：期末テスト、それに向けての勉強、帰国準備 7月14日に日本帰国